

中高生が留学生と共に“横に並んで”世界を学ぶ旅 大阪・関西万博で追大生によるVR国際交流イベント開催

主体的に学び、協働して社会課題に向き合う学修スタイル「OIDAI WIL (Work-Is-Learning)」を推進する追手門学院大学（大阪府茨木市、学長：真銅正宏）の学生が、大阪・関西万博の公式プログラム「ジュニア SDGs キャンプ」において、VRを活用した国際交流イベント「VR×国際交流プロジェクト」を企画しました。

大阪・関西万博に来場する中高生を対象に、留学生と日本人学生が協働し、世界5か国（ベトナム、 Bangladesh、ミャンマー、インドネシア、インド）をVRで巡るツアーを実施。参加者はVRゴーグルを装着し、各国の文化や暮らしを体験しながら、現地出身の留学生による解説を聞き、グループで対話することで、異文化理解と交流を深めます。



デモンストレーションの様子

本企画には、共通教育機構のアリザデ メラサ准教授とキャサリン ソートン准教授、経営学部の上田 真由美教授の指導のもと、日本人学生6名と留学生5名が参加。留学生が帰国時に撮影した写真や、家族・友人に依頼して撮影した素材、さらにインターネット上の映像を組み合わせ、VRコンテンツを制作しました。当日はグループに分かれてアイスブレイクを行った後、各国のVR映像を体験し、留学生の解説やグループディスカッションを通じて理解を深めます。写真やプレゼンテーションでは得られない没入感を活かし、まるで留学生と“横に並んで”世界を旅するような臨場感のある体験を提供します。

この取り組みは、9月17日（水）に追手門学院中・高等学校の生徒を対象にデモンストレーションを実施しました。その際、国際交流の機会が多い生徒たちでも、他国文化に対してメディアやSNSから得た固定観念を持つ場面が見られました。本イベントを万博で実施することで、日本全国から来場する中高生に対し、留学生自身がリアルな文化や国柄を伝える機会を提供し、異文化交流や世界への関心を広げることを目指します。

イベントは9月27日（土）に3回実施（11:00～11:45／13:00～13:45／14:00～14:45）。大阪・関西万博の公式アプリから事前申込が可能です。

また、制作したVRコンテンツは万博会場だけでなく、大学での国際教育プログラム「E-C0」の取り組みや近隣の中学校・高校でも活用し、学内外での国際理解教育に継続的に貢献する予定です。

【イベント詳細】

イベント名：「VR×国際交流プロジェクト」

開催日時：2025年9月27日（土） 11:00～11:45／13:00～13:45／14:00～14:45（※計3回実施）

開催場所：大阪・関西万博 ジュニア SDGs キャンプ（サステナドーム）

対象年齢：中学生・高校生

参加人数：各回 約40名

参加方法：事前予約（大阪・関西万博の公式サイトのイベント予約から）

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL：072-665-9166

蛭原・織田